

2020年度 第6回企画環境委員会 議事録

日 時 2021年1月15日(金) 15:30～17:30

会 場 WEB会議(ZOOM)

出席者 19名(欠席:辻森委員)

(敬称略)

ブロック		委員名	ブロック		委員名	ブロック		委員名
東京		松本 一成	南関東	○	清田 顕彦	東中国		清水 浩史郎
北海道		広川 太一	東京		西條 剛	西中国		宮下 香津恵
北東北		後藤 芳晴	東海		生川 恭道	四国	○	開出 昭
南東北		福村 浩幸	北陸		林 忠宣	九州北		辻森 陽介
上信越		神林 英樹	近畿		安井 義幸	九州南		安座間 安由
東関東		小坂橋 聡	阪神		山口 善克			

<担当副会長> 山口 史朗 <事務局> 常務理事:小見 隆彦、特命部長:大谷 隆(記)

:委員長、○副委員長

チャンネル競争カグループ : 開出 昭、後藤 芳晴、安井 義幸、林 忠宣、山口 善克、福村 浩幸
生川 恭道、辻森 陽介

共通化・標準化グループ : 清田 顕彦、神林 英樹、西條 剛、宮下 香津恵、広川 太一
安座間 安由、小坂橋 聡、清水 浩史郎

<委員会での決定事項>

・企画環境委員へのアンケート回答結果については次回アンケート依頼時に連携する。

(各地域の委員に回答を促す)

・引き続き、委員会名簿・新規提携事業者の情報を収集する。

議 事

・挨拶

1. 松本委員長挨拶

- ・年始早々、緊急事態宣言が発出され、慌ただしくなってます。本日も皆さんと会えるのを期待していましたが、非常に残念であり次回以降に楽しみは残しておきます。
- ・我々、地域社会に貢献する代理店としては、今はしっかり自粛をして感染者を増やさないことが社会貢献の一端であり、困っている企業への支援も代理店の使命でもあります。保険が使える・使えないに関わらずしっかりと顧客に寄り添っていく姿勢を示すことが非常に大事だと思います。
- ・保険代理店は、他の業種に比べて影響が少なく恵まれている仕事であります。そういった意味でもしっかりとお客さまのことを考えてあげることが大事であります。
- ・私は2つの震災を現地で体験しましたが、日本はかなりの頻度で災害・パンデミックが発生しており、今後我々の存在意義はますます高くなっていくと思うので、これらを踏まえしっかりと代協活動を行っていきたい。
- ・本日は、全国の企画環境委員へのアンケートを踏まえて進行していきます。
- ・今は、次年度のことも考えねばならない時期ではありますが、コロナの影響に加え、難題が多かったこともあり、ここまで思ったようにやってこれなかった点は反省しておりますし、この点を踏まえて次年度は運営していきたいと思っております。
- ・共通化・標準化でやっているオンライン募集やテレワーク等については、引き続き議論していくので保険会社各個社に働きかけていながら、しっかりと進めていきます。

- ・チャンネル間競争力については、何も決まっていますが、プロ代理店はリスクマネジメントしかないと思っているところがあり、金子会長の年頭所感にありますようにリスクマネジメント講座を企画環境委員会中心に推進していかなければならないと思っております。
- ・また、もう一つは、事業継続力強化認定について代協の中でも認定を取得しようという動きが出ておりますが、一昨日別件で中小企業庁の経営安定対策室長と情報交換を行ってきました。
- ・中小企業庁でも、銀行や会計事務所・地域の商工会、保険会社との情報交換を通して推進を模索してきたが、いまや保険代理店しかないという結論になったと思われまます。保険代理店の方々に事業継続力強化認定を取得してもらい、それを既存の中小企業へ展開していく以外には日本の中小企業にBCPを広げるといことはできないという認識を持って頂いたのではないかと思います。
- ・チャンネル間競争力を高めるという意味でもリスクマネジメントと同時に、この事業継続力強化認定をしっかりと取得して地域に広めていければと思っていますので、皆さんの意見を聞きながら次年度の取組みに組み込んでいきたいと思っております。
- ・本日は、オンライン会議となってしまったので、報告事項が多くなってしましますが、どんどん質問いただき活発な議論が出来たらと思います。一方通行にならないよう意見を出してください。

2. 司会進行・議事録作成者の氏名

司会進行に開出副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・報告事項・情報共有事項

1. 理事会・全国会長懇談会報告

事務局より、配布した第6回理事会議事録の内容に沿って説明が行われ、以下の補足をした。

- ・事前に各都道府県代協より提出された2021年度日本代協事業計画の提言につき承認され、次回理事会の審議事案に入れる。
- ・仲間づくり推進の起爆剤として「入会目標達成キャンペーン」と「年度通算の減店脱却キャンペーン」の実施が承認された。
- ・日本代協コンベンションで実施予定であった会員懇談会の質問事項の回答案につき、承認された(質問・回答は日本代協HP 会員専用書庫 参照)。
- ・2021年度第39次PIASの中止が承認された
- ・全国社労士会連合会と連携し、「社労士診断認証制度」の活用に積極的に取り組むことが承認された
- ・事業計画進捗状況について、地区担当理事・各委員長より報告があった。

2. 正副会長・各委員長打合せ報告、前回委員会振り返り

松本委員長より、12/9に開催された正副会長と各委員長の打合せ報告が行われた。

- ・今年度諮問事項の進捗と反省点、次年度に向けての課題についての情報共有を中心に行った。
- ・アンケート等今までと違うやり方でやってきたが、オンラインでの会議となり重い議題に対して上手く運営できなかったとの反省点を報告した
- ・不公正募集についてはまずは委員が理解しようとの観点からアカデミーでの配信を行った。
- ・保険金請求業者に対しては損保協会と連携し次年度以降活性化していく。
- ・共通化・標準化については、保険会社のスピード感もまちまちであり、なかなか前に進まずやきもきしていたが、各保険会社への要望書を作成しスピーディーに対応していきたい。
- ・チャンネル間競争力については、ロードマップを研究会方式で立ち上げ作成していきたい。

配布した第5回企画環境委員会議事録の内容に沿って振り返りが行われた。

・審議事項

1. 不公正募集情報共有

(事務局より)

- ・3件の不公正募集(全てディーラー系)案件を共有した。
 - ・安座間委員より県代協会長のもとに該当業者担当部長が謝罪に来て再発防止を徹底したとの事後報告があった。
 - ・林委員より2件の事案の補足があり、いずれも現地にて対応した旨報告があった。
- (松本委員長より補足)
- ・今後も具体的な情報をあげてください。特定修理業者情報についても損保協会と調整して情報を集めますが保険金サポート業務だけでは違法性がないので、より詳細な情報を求められると思います。
 - ・独禁法の動画については次回アンケートにて視聴状況を確認するので皆さんからもフォローしてください。
 - ・併せて情報を積極的に挙げてもらうよう前回のアンケートで依頼したのでフォローしてください。

(Direct等でのやり取りの共有)

- ・「損保 Cloud.com」が保険会社に推奨されていない理由として、サポート面だけでなく、機能面でも十分ではないとの見解から推奨されていない、また、導入済であっても、保険会社個別の手数料体系・認定制度があるので会員個社マターで所属保険会社に確認する必要があることを共有した。
- ・松本委員長より損保クラウド導入後アフラック社のシステムが使用できなくなっており、現在NTTコムよりアフラック社へ申し入れしているとの情報提供があった。
- ・代協会員懇談会 2020 のQ7でスモールリペアの単価が1,500円以下として問題無しとの回答があるが、当局や保険会社との対話から実際は数百円から千円程度であると推測していることを共有した。
- ・自治会の収納手数料の方が損保口座振替手数料よりも安いとの新聞記事を連携された。
- ・特定業者からの保険金支払ランキング、広告を共有をした。
- ・特定修理業者対策については損保協会に対策PTを立ち上げて対応予定との情報あり。

2. 共通化・標準化の推進

各ブロックからの追加報告はなく、オンライン契約の実現と共通化については損保各社が独自に計上システムと紐づけて進行しており個社別に要望書を提出予定。

(清田副委員長より)

- ・オンライン募集の共通化についての要望書提出につき説明があった。

(松本委員長より補足)

- ・損保協会が出すコンプライアンスガイドの中にはオンライン募集・テレワークについて触れられているが、非常にシンプルな内容となっており、基本個社マターだとされています。したがって、要望書も個社別に提出していくこととしました。
- ・簡潔に電話募集と同じことをオンラインでやらせてくれと要望するつもりです。

- ・法人・個人問わず、全商品を全ての工程が完結するよう、決済方式についてもオンライン決済を乗合代理店に準備して欲しい。
- ・保険会社でこれらが出来ないというのであれば、代理店個別で用意するのでそれを許可して欲しいと要望する予定です。
- ・他みなさまからも意見があれば出してください。

清田委員長より全国の委員からのアンケート回答の報告があった。

3. チャネル競争力強化策(提携事業)について

(開出副委員長)

- ・提携事業の推進については今回追加業者無し
- ・活用事例の共有を通じた活性化と新たな提携先の発掘とビジネスモデルを構築していく上でさらなる情報をあげてください。

(松本委員長)

- ・アンケート結果に取組み事例紹介されているので、全国の委員にも展開します。
- ・新たな提携業者については、あまり意見がありませんが、リスクマネジメントの観点からすると、いくらでも業者はあるはずなので、今回頂いたアンケート結果を基に整理していきます。

4. チャネル競争力強化策(ロードマップ)について

(開出副委員長)

- ・研究会形式にて開催し、そこでひな型を作成します。

(松本委員長)

- ・モデル代理店の要件は、皆さんと喧々諤々やりたかったところですが、今回もアンケートでの情報収集となってしまいました。
- ・アンケート回答では就業規則、経営理念、保険会社依存脱却、経営理念の浸透等の意見が出ております。
- ・大人数で議論するのは、特にWEB会議だと難しいという現状があるので、研究会方式で、皆様の意見を取り入れて進めていこうと思っております。

・その他情報提供・閉会

1. その他

(松本委員長)

- ・委員会名簿について、コミュニケーションのために収集していますが、まだまだメール送信可能な委員が少ないので、積極的に報告してください。アンケート回答についても少なく、皆さんからのフォローをお願いします(名簿は無理やり集めるものではないので留意してください)。
- ・企画環境委員会の概要を12/3配信したので確認してください(南関東ブロック資料)。
- ・企画環境委員としてチャネル間競争力を高めるため、リスクマネジメント推進を教育委員会と連携して推進していきたいと考えております。

- ・次年度に向けてリスクマネジメント・事業継続力強化認定の推進等について皆さんの意見を聞かせていただきたい。

(主な意見)

- ・古い感覚の代理店が多いので、新しい取組みを全体に浸透させるのに不安がある。
- ・リスクマネジメントを推進するにあたり、具体的案があればやすい。
- ・BCPの徹底がある程度できているので、事業継続力強化取組みはいいと思う。
- ・保険会社によっては推奨しており、お客さまに勧める前に代理店自身が取得する動きがある。
- ・実効性のある取組みをしていきたい。
- ・保険代理店では次世代の募集人が減っているので、その点についても検討していけたらと思う。
- ・まずは、代協提供のBCPガイドを会員に徹底したい。
- ・健康経営の取組みを追加してはどうか。

2. 本日の到達点の確認

小見常務より下記情報提供があった。

(経営サポートデスクについて)

- ・おととしの7月に開業し、事務局の思っている様々な情報をどんどん形にし、多くのツールが出来上がっております。
- ・皆さんの意見にあったBCPについても去年の3/25に全国の会長・事務局に案内しております。事業継続力強化認定をふまえて、配りっぱなしではなくセミナーを開催してくださいと声を大にして案内したのですが届いていないような気がします。
- ・BCPセミナーは既に15~6の地域で開催しておりますが、事業継続力強化認定の推進にはこのセミナーを活用してください。今まで読み物だけで進まなかったことをどうやったらいいか解説します。
- ・12/2には「ハザードマップ基本活用ガイド」を案内し、代理店の社内勉強会や提携不動産業者へ案内しネットワーク構築に役立っている会員も増えてきております。
- ・健康経営についても日本代協アカデミーの情報コンテンツで紹介しています。
- ・色んなところにアンテナを張り巡らせて、これは！というものには自分から見に行ってください。
- ・これらの案内が十分会員に伝わっていないことは、事務局の反省点として持ち帰り検討します。

(ゆうちょ銀行情報)

- ・ゆうちょ銀行が口座の貸し越しの手続き・住宅ローンの直接の取り扱いを開始すると仁義を切ってきました。それに付随する長火の取扱いの申請も行うとのこと。
- ・こちらとしては、現状と課題に書いてある通り、国の資本が入ったもので民業圧迫になるので反対であると伝えました。
- ・金子会長も郵政民営化委員会に出席いただき、改めて反対の意思表示をしていただきます。
- ・しかし、申請については法的に止められるものではないので動き出してしまっています。

3. 山口副会長閉会挨拶

- ・まずは、北陸・東北の大雪で多くの人が苦勞されているかと思い、心からお見舞い申し上げます。
- ・皆さんも Zoom 会議にかなり慣れてこられたなと感じました。そうはいうもののやはりリアルでお会いしたいのが本心です。
- ・コロナの状況は当分収まりそうもないですし、大雪・台風・地震がいつ起こるかわからない状況では新しく手に入れた武器を活用していくべきだと思います。
- ・今後もしばらくはお会いできないかもしれませんが、Zoom をもっと上手に活用し深い議論・充実した委員会を運営していただければと思います。
- ・さて、代協の最大の問題点は「情報の伝達」だと私も感じております。せっかくのいいものが会員に伝わっていないことが問題で、特に、企画環境委員の皆さんは、委員同士の連絡や地元の企画環境委員との連絡を密にとってください。リアルに会えない分、密な連絡が重要です。
- ・他チャンネルとの差別化について、レストランに例えるならば、ラーメンからフレンチのフルコースまでなんでも提供できるとするのもありだと思いますが、大切なのはどこよりもおいしくて、どこよりもホスピタリティに徹したコスパが最高なことが大事です。ですから、提携事業者との連携も重要ですが、最も大事なことは圧倒的な力を持ち他チャンネルに実力差をつける事であり、そう考えるとリスクマネジメントとBCPが最大のポイントになると感じております
- ・今後、企画環境委員会では一丸となってこの取組を進めて、しっかりと結果を出すことによって他チャンネルとの差別化が大きく前進するものだと思います。
- ・一日も早くリアルでお会いすることを期待しつつ、Zoom 会議でもしっかり企画環境委員会のミッションを遂行していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

以上

次回開催日 2021年2月16日(火) 15:30~17:30

WEB会議